横田基地 第37回スペシャルオリンピック開催

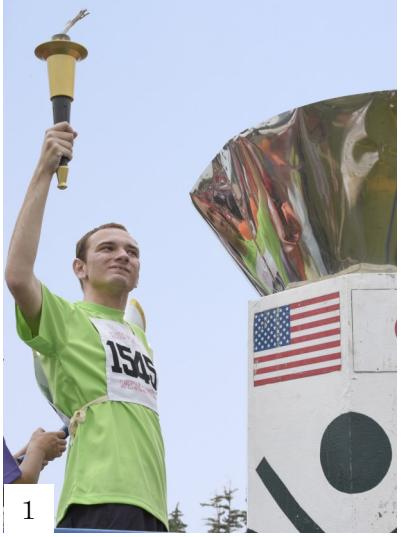
Yokota hosts 37th annual KPSO

June 3, 2016

Original text by Machiko Imai
374th Airlift Wing Public Affairs

1980年から横田基地で行われている知的発達障害のある人々のスポーツ・レクリエーションの祭典「関東スペシャルオリンピック大会」が5月28日に行われた。本大会は今年で第37回目。

今年のテーマは“Perseverance & Never Fear（不屈の精神、恐れない心）”。米国防省と地元の日本の学校から参加した約140人の選手が、短距離走、幅跳び、ボーリング、水泳などの競技に挑んだ。また今年も米軍関係者や基地の日本人従業員のほか、自衛隊関係者や地元のボランティア1000人以上が大会の運営を支えた。



1

（写真1）開会式で聖火台に火を灯す横須賀基地中学校のザクリー・マッキベンさん。開会式では、選手たちの入場行進、聖火台への灯火が行われたほか、第37回を記念して37個の風船が空に放たれた。

（写真2）50メールを全力で走る選手。

一人一人の選手に付き添いのボランティアが付き、エスコートのサポートや競技の応援等を行った。

2

（写真3）50メートル走をゴールした後、応援に集まった人々とハイタッチを交わす選手。

今年も米軍関係者や基地の日本人従業員のほか、自衛隊関係者や地元のボランティア等、1000人以上が大会の運営を支えた。

3